

ALPINE REPORT

第47期決算報告書

2012年 (平成24年) 4月1日～2013年 (平成25年) 3月31日



株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第47期決算報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。

当期の事業環境は、米国経済が穏やかな回復基調を示したものの、期後半まで続いた円高や長期化している欧州債務危機、新興国経済の減速などの影響を受け、厳しい状況で推移致しました。国内では、海外経済の不安定感や地デジ切り替え特需の反動など、総じて弱含みで推移致しました。このような状況下、新製品のラインアップを強化し、拡販を推し進めると共に、自動車メーカー納入製品の安定供給に全力で取り組むなど売上の確保に努めました。しかしながら、当期の業績は価格競争の激化に加え、売上構成

Driving Mobile Media Solutions™

モバイルメディアの未来価値へ

の変化や調達部材コストの高止まりなどにより、前期比で増収・減益となりました。

厳しい状況下ではありましたが、攻めの体制強化として、成長が見込まれる新興国市場の販売・生産体制の拡充を図ると共に、米国にクラウドコンピューター領域の研究開発会社を設立し、車載情報機器とスマートフォンなどモバイル機器がリンクする新製品開発に取り組みました。世界一の自動車市場となった中国においては日系ブランド車の買い控えによる売上減少がございましたが、中国市場で伸張著しい海外高級車メーカー向けビジネスの強化を図ると同時に、中国ローカル自動車メーカー向けビジネスの拡大に努めました。さらに国内では、日刊自動車用品大賞にて国内市販の「アルパインスタイル」が栄えある



グランプリを受賞、そして権威ある顧客満足度調査においてもNo.1評価を頂き、2冠を達成致しました。

事業環境は、欧州の景気低迷や新興国経済の不透明感など厳しい状況が継続すると予測されるものの、アベノミクス効果による国内個人消費の活性化、円高是正など明るい兆しも見え始めています。この様な状況の中、「品質」「コスト」「納期」のあくなき改善を基軸として、引き続き全社一丸となった原価低減活動を推進すると共に、お客様に満足頂ける製品の開発と拡販を進め、業績の回復に努めます。クルマを取り巻く産業は、自動車メーカーの「クルマづくり」の進化や電子化に伴い、大きく変化しております。変化をビジネス拡大のチャンスと捉え、今後も変化する時代に応じたものづくり経営を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長

宇佐美 徹

アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1. 「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2. 「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3. 「社会への貢献」

アルパインは品位ある製品の提供を通じ、明日の豊かな社会作りに貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication



Drive Assist

事業報告

音響機器事業

当事業部門では、北米市販市場でCDプレーヤーを中心としたヘッドユニットと高音質スピーカーやアンプなどを組み合わせたサウンドシステムの販売に加え、新たに商流を獲得したブラジル市場向け製品の販売を開始するなど売上拡大を図りました。しかしながら市場環境が厳しく、売上は前年並みを確保するにとどまりました。欧州市販市場ではデジタルラジオ関連の新製品を投入すると共にCDプレーヤーのセールスプロモーションを展開し拡販を図りましたが、予想以上の市場の冷え込みにより、売上は厳しい状況で推移しました。また、国内市販市場も市場規模が縮小したことにより競争が激化、高シェアを維持していたスピーカーの販売が低調に推移するなど総じて厳しい状況で推移しました。

自動車メーカー向け純正品は、日系自動車メーカーの生産・販売の回復や、米国大手自動車メーカーの販売が好調であったことから、売上が増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は591億円(前期比6.0%増)となりました。

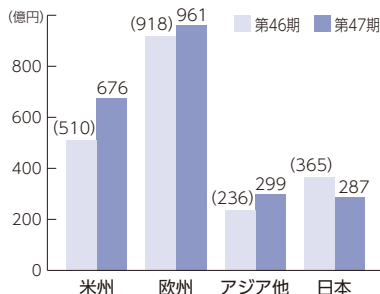
情報・通信機器事業

当事業部門では、国内市販市場において外部評価機関による調査で顧客満足度第1位を獲得した「BIG Xシリーズ」や「パーフェクトフィット」に加え、当社独自の車室内インテリア空間を提案、「アルパインスタイル」としてトータルコーディネートの特長を売り、売上拡大を目指しました。さらに世界初、イオン発生機能搭載のリアビジョンや9インチディスプレイのナビゲーションを市場投入するなどユーザーニーズに対応した新製品のラインアップを強化しましたが、競合各社からの新製品投入や価格競争激化により売上は減少しました。また、欧米市販市場においても市況悪化に伴う売上減少に加え、新製品導入が計画より遅れたため、売上は低調に推移しました。

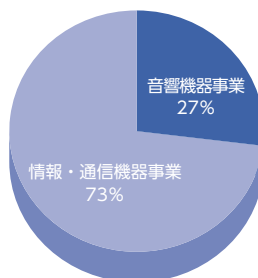
自動車メーカー向け純正品は、欧州高級自動車メーカーや米国大手自動車メーカーの販売が好調であったことに加え、日系自動車メーカーの生産・販売が回復し、ナビゲーションやディスプレイ製品の搭載率が高まり、売上が増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は1,632億円(前期比10.9%増)となりました。

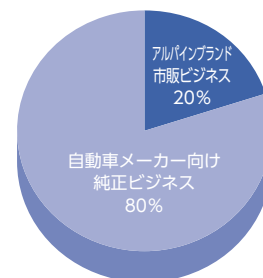
地域別売上状況



事業部門別売上比率



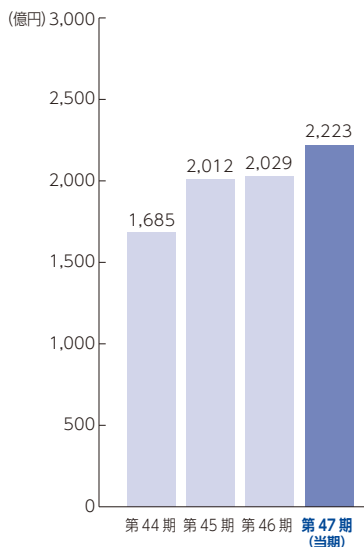
仕向け先別売上比率



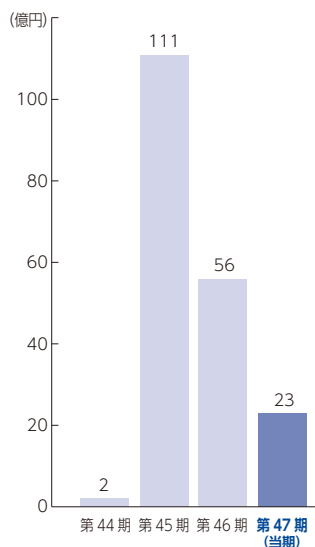


主要経営指標の推移

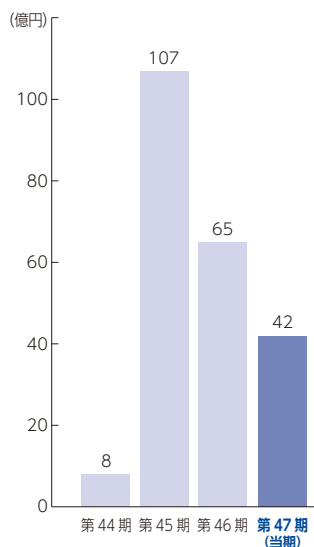
売上高



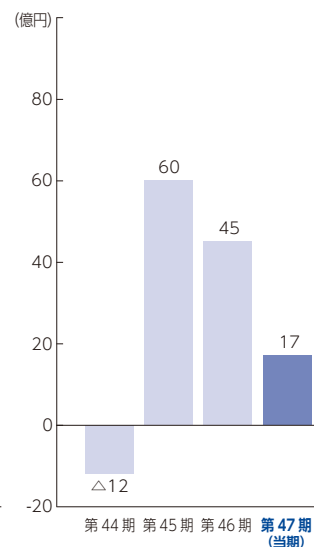
営業利益



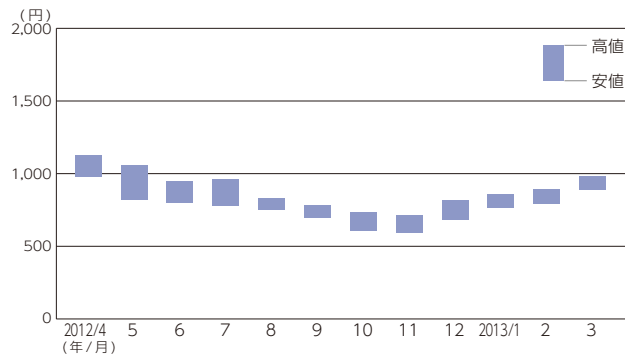
経常利益



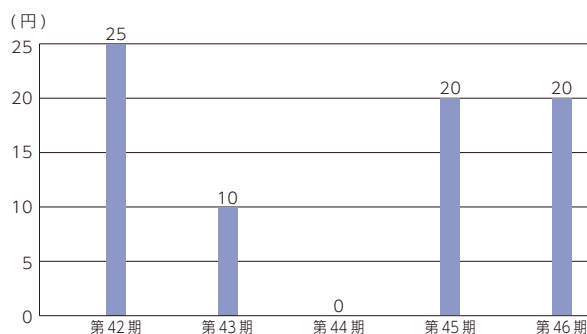
当期純利益



株価時系列データ



配当金推移



トピックス

国内市販で「BIG Xシリーズ」が販売店様とユーザーの両方からNo.1評価を獲得



オープニング画面で表示される車種名



イオン発生機能搭載リアビジョン

国内市販の車種専用カーナビゲーション「BIG Xシリーズ」が実現した圧倒的な画面サイズ、車種専用にごこだわったソフト・ハード面での機能性がユーザーから高く評価され、国内の顧客満足度調査において栄えあるNo.1を獲得しました。ミニバン保有の子育て世代のニーズを捉えたリアモニターやクルマの周囲を写すカメラとのシステム連携において高く評価されたことも受賞背景の一つとなっております。今回の受賞により、「BIG Xシリーズ」は「日刊自動車用品大賞2012グランプリ(2012年7月受賞／主催：日刊自動車新聞社)」とあわせて2冠を達成し、販売店様とユーザーの両方からNo.1の評価を得ることとなりました。アルパインが業界に先駆けて販売した大画面カーナビと、車種専用コンセプト「パーフェクトフィット」は、車種名が

オープニング画面で表示されるほか、車種専用の音響設定、地デジ放送が最適に受信されるアンテナの位置まで車に合わせてチューニング。お客様の車に応じた最適な取付けを実現します。今後も対応製品群を拡充し、より多くのお客様のご期待に応えると共に、イオン発生機能を搭載した後部座席用モニターのリアビジョンや車の周囲を写すカメラとのシステム提案も強化し、拡販に努めてまいります。

アメリカの「コンシューマーエレクトロニクスショー」でブランドをアピール



お客様でにぎわうアプリTuneItのデモ展示



実際のダッシュボードで純正と8インチAVNを比較展示

2013年1月、アメリカ・ラスベガスにて開催された世界最大の「コンシューマーエレクトロニクスショー」に出展しました。「Play On」をコンセプトとして、ターゲットユーザー別に「Play Big」「Play Smart」「Play Strong」の3つのゾーンをブース内に展開し、新製品の展示を行いました。「Play Big」ゾーンでは、北米市場初となる8インチ大画面を採用したカーナビゲーションを展示。車種専用インストレーションの訴求を行いました。「Play Smart」ゾーンではスマートフォンの音声認識機能に対応したヘッドユニットを出展。また、スマートフォンで車室内音響を調整するアルパイン開発のスマートフォンアプリ「TuneIt」のデモ展示を行い、多くの来場者の注目を集めました。この「TuneIt」とリンクする新製品のCDヘッドユニットは車載オーディオ／ビデオ部門に

おいて「2013 Innovations Design and Engineering Awards」を受賞しました。「Play Strong」ゾーンでは現在、アルパインが米国No.1シェアを誇るパワーアンプの最新モデルを展示。更に、米国やアジアで人気のアジア系Hip Hopグループ「Far East Movement」と共同で開発したサブウーファーを展示し、若いユーザーをターゲットとした新提案を行いました。

来場したお客様からは、展示コンセプトを鮮明にしたブース作りは大変分かりやすいと高評価を頂くと共に、「新製品が待ち遠しい、早く出荷して欲しい」とのお声も頂きました。

トピックス

自動車メーカー向けOEMビジネスの強化を狙い、アルプス電気と合同で技術展を開催



アルプス電気と共同で開発した次世代型コックピット

昨年11月のアルパインシリコンバレーオフィスでの開催を皮切りに、アルプス電気・アルパイン合同による自動車メーカー向け技術展を5カ国13拠点で開催しました。

将来のビジネス受注に向け、アルプスグループの総合力をアピールすべく、顧客キーマンとのフェイスツーフェイスのワークショップに特に注力して実施。自動車メーカーの先行開発部隊が多く集まるカリフォルニア州のシリコンバレー地区に続き、当社顧客である自動車メーカー様の主要拠点にて開催しました。

主な展示品はスピードなどを表示するクラスターパネル、ナビゲーションなどを表示するディスプレイを統合した統

合ディスプレイ、ジェスチャー入力を可能としたマルチモーダルコマンダー、ドライバー及びその他乗員の行動を予測するカメラなど運転席を中心とした車内の各種機能をシステムインテグレートした次世代型コックピットを展示。また「HMI」、「AVNC」、「LINK」、「eco」のそれぞれの各エリアでアルプスグループの総合技術開発力を提案しました。

特に次世代型コックピットはアルプス電気、アルパインのそれぞれの強みを活かした提案として、自動車メーカーのキーマンの方々から高く評価頂きました。今後も、アルプス・アルパイン各関連部門が一体となり、継続的に活動することで、ビジネスの拡大を目指します。

グローバル生産体制の強化、メキシコ工場拡張

北米自動車市場が順調に回復しており、アルパインの北米生産拠点「Alcom Electronicos De Mexico, S.A.De C.V.(以下アルコム)」における2013年度の生産台数は前年度比20%の増加を予定しています。

北米を中心として、さらには中南米の自動車市場の拡大が見込まれることから、メキシコにおいては自動車メーカーの進出・生産拡大が続いています。当社も需要の増加に対応するため、当該地域の生産拠点であるアルコムの敷地内に新棟を今年度建設し、生産能力の拡大を図ります。

アルコムは1992年にアルパインが北米市場向け製品の生産拠点として設立し、アルプス電気との合併会社となった1995年以来、両社の生産拠点としてカーエレクトロニクス製品と自動車部品を生産してまいりました。



拡張するメキシコ工場

今回の拡張にあわせて生産ラインの最適化も行い、アルプス電気の自動車部品生産と共に、工場全体の効率化を図ります。また、メイドインマーケットを推進することで顧客からの受注変化に柔軟に対応可能な体制を確立し、リードタイムの短縮や在庫の削減を目指します。

Alpine Customer Service (USA) , Inc. 設立

北米における自動車メーカー向けカーエレクトロニクス製品の修理サービスを行う現地法人を設立しました。

従来、北米市場における製品の修理・メンテナンスは外部に委託しておりましたが、同業務を当社グループ内に取り込むことで、より迅速な原因解明と修理対応をしております。

自動車の電子化に伴い、当社製品も高度な複合システム製品へと進化し、さらに、昨今ではスマートフォンなどのモバイル機器との連携も重要な機能となっています。

高度化・複雑化するシステム製品の修理サービスは高い解析技術を要しますが、当社グループ内でより早く確実に対応し、開発部門へフィードバックすることで一層の品質向上を目指します。

トピックス

経済成長が続く、新興国への取組み強化



Best Design Awardを受賞したアルパインブース(タイ・バンコク)

成長が見込まれる東南アジアにおいて、各国のモーターショーに出展し、アルパインブランドをアピールしました。2012年3月26日から4月8日まで開催された「バンコク国際モーターショー2012」に出展。最新ラインアップを展示した当社ブースにおいては、ディスプレイオーディオICS-X8がNokiaスマートフォンとリンクし、各種アプリの操作をICS-X8側で実現する先進技術が来場者の注目を集めていました。またアルパインブースのブルーを基調とした



大画面カーナビに興味を持つ来場者(インドネシア)

デザインが高級感、さらには高い品質と技術を表しているとして「Best Design Award」を受賞しました。加えて9月20日から30日まで開催された「インドネシア国際モーターショー2012」にも出展しました。アジア市場に初めて投入した8インチ大画面カーナビINE-2928Eを展示し、大画面ならではの大きなアイコンによる優れた操作性や、地図の表示範囲の広さ、さらには車種別に開発したパーフェクトフィットによる美しい取り付けもアピールしました。

Alpine Electronics of Asia Pacific Co., Ltd. Representative Office設立

一昨年のインドとドバイにおける現地法人設立、さらにタイでのカーオーディオ生産再開に次いで、新興国強化施策の一環として、新たにインドネシア共和国に駐在員事務所を設立しました。インドネシアは世界第4位の人口を誇り、自動車市場も更なる成長が期待されています。現地に駐在員を派遣することで、市販製品の販売店と代理店、自動車ディーラーとの関係強化を図り売上拡大を目指します。さらにはマーケットリサーチを通して、ローカルニーズを見極め最適なマーケティング活動につなげます。インドネシアをはじめとする新興国におけるアルパインブランドの浸透と市販ビジネスの強化を通して、企業価値の拡大を目指してまいります。

「産学協同」で新たなセキュリティ対応製品の開発に向けて



会津大学との調印式にて 当社石黒会長(左)・角山理事長



ハッキングの脅威を測定(イメージ)

近年、ハッカーによるネットワークやPCへのサイバー攻撃が社会問題になっております。

当カーエレクトロニクス業界においても、スマートフォンと車載機器の機能連携が急速に拡大しています。

スマートフォンを介してインターネットと繋がったクルマのシステムへ不正アクセスされれば、重大な事故につながる恐れがあると危惧されています。

そこでアルパインとITの専門大学である福島県立会津大学は2012年11月29日、東日本大震災からの復興支援のための連携協力基本協定を締結しました。雇用の創出を目的とした復興関連事業の一環として、会津大学と協同で車載機器に対する不正アクセスの脅威を分析し、脆弱性を測定する装置を研究・開発します。

研究の成果としてサイバー攻撃の車載機器への影響と、その対応をガイドラインとしてまとめ、将来的にはセキュリティに対応した製品を開発することで、新しいビジネスの創出を目指します。

会津大学とアルパインはITと車載事業に関するお互いの実績や知見を融合させて、福島の復興・成長に寄与できる人材育成を目指すと共に、持続的なモビリティ社会の実現に向けて活動を推進します。

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

| | 第47期 (2013年3月31日現在) | 第46期 (2012年3月31日現在) | | 第47期 (2013年3月31日現在) | 第46期 (2012年3月31日現在) |
|-------------|------------------------|------------------------|-----------------|------------------------|------------------------|
| 資産の部 | | | 負債・純資産の部 | | |
| 流動資産 | 113,311 | 118,602 | 流動負債 | 49,026 | 57,795 |
| 現金及び預金 | 34,070 | 44,209 | 支払手形及び買掛金 | 27,629 | 32,116 |
| 受取手形及び売掛金 | 38,207 | 35,695 | 短期借入金 | 239 | 132 |
| たな卸資産 | 29,316 | 27,012 | その他 | 21,157 | 25,546 |
| その他 | 11,717 | 11,684 | 固定負債 | 9,044 | 7,749 |
| 固定資産 | 54,750 | 48,753 | 繰延税金負債 | 5,478 | 4,600 |
| 有形固定資産 | 23,944 | 21,592 | その他 | 3,566 | 3,148 |
| 無形固定資産 | 2,438 | 2,814 | ② 負債合計 | 58,070 | 65,544 |
| 投資・その他の資産 | 28,367 | 24,346 | ③ 株主資本 | 106,129 | 105,774 |
| | | | その他の包括利益累計額合計 | 2,897 | △4,706 |
| | | | 少数株主持分 | 963 | 743 |
| | | | 純資産合計 | 109,991 | 101,811 |
| ① 資産合計 | 168,061 | 167,355 | 負債・純資産合計 | 168,061 | 167,355 |

(単位:百万円)

[連結財務諸表のポイント]

① 資産合計

売上が増えた事から、受取手形及び売掛金、たな卸資産などが増加し、1,680億円となりました。

② 負債合計

支払手形及び買掛金の減少、1年内返済予定の長期借入金の全額返済などにより、580億円となりました。

③ 株主資本

自己資本比率は64.9%であり、引き続き財務の健全性を維持しています。

④ 売上高

日系自動車メーカー向け売上が回復すると共に、欧米自動車メーカーの販売が好調であった事から増収となりました。

⑤ 営業利益

売上構成の変化や調達部材コストの高止まりが収益を圧迫し、営業利益は23億円になりました。

⑥ 営業外収益

持分法適用会社からの投資利益や為替差益により増加しました。

⑦ 特別利益

福島第一原子力発電所事故に伴う受取補償金等を計上した為、増加しました。

⑧ 営業活動によるキャッシュフロー

仕入債務の減少や法人税等の支払いによる資金の減少はあったものの、16億円の増加となりました。

⑨ フリーキャッシュフロー

営業活動によるキャッシュフローと投資活動によるキャッシュフローの合計であるフリーキャッシュフローは44億円の減少となりました。



連結損益計算書

| | 第47期 2012年4月1日～ 2013年3月31日 | 第46期 2011年4月1日～ 2012年3月31日 |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 4 売上高 | 222,309 | 202,905 |
| 売上原価 | 191,433 | 167,406 |
| 販売費・一般管理費 | 28,571 | 29,849 |
| 5 営業利益 | 2,305 | 5,649 |
| 6 営業外収益 | 2,395 | 1,541 |
| 営業外費用 | 408 | 669 |
| 経常利益 | 4,291 | 6,521 |
| 7 特別利益 | 1,383 | 1,167 |
| 特別損失 | 329 | 709 |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,346 | 6,980 |
| 税金(法人税等) | 3,541 | 2,474 |
| 少数株主利益又は少数株主損失 | 57 | △66 |
| 当期純利益 | 1,747 | 4,572 |

(単位:百万円)

包括利益計算書

| | 第47期 2012年4月1日～ 2013年3月31日 | 第46期 2011年4月1日～ 2012年3月31日 |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 1,804 | 4,505 |
| その他の包括利益合計 | 7,729 | △60 |
| 包括利益 | 9,533 | 4,445 |

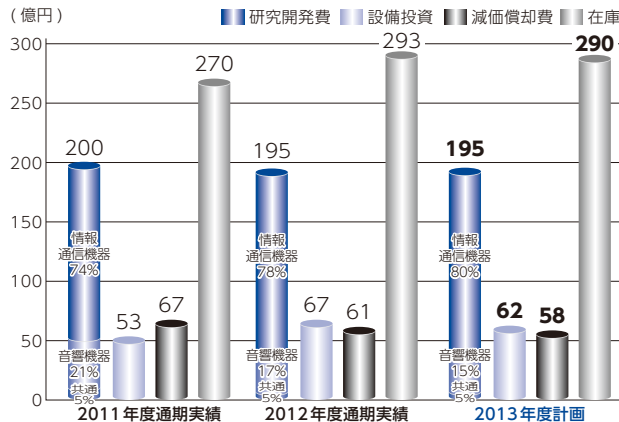
(単位:百万円)

連結キャッシュフロー計算書

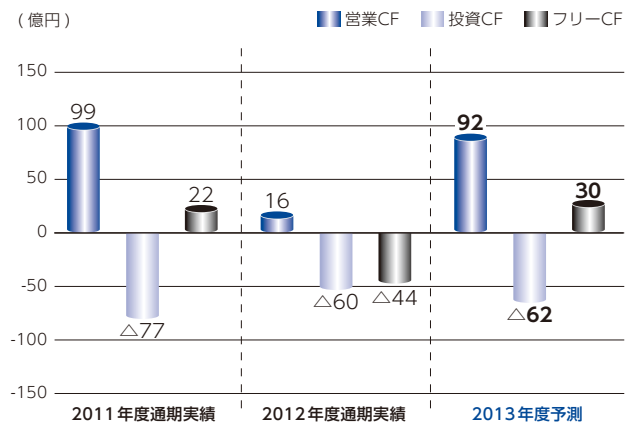
| | 第47期 2012年4月1日～ 2013年3月31日 | 第46期 2011年4月1日～ 2012年3月31日 |
|---------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 8 営業活動によるキャッシュフロー | 1,607 | 9,921 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | △6,023 | △7,710 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | △6,701 | △1,381 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,221 | △765 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △9,895 | 63 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 43,947 | 43,883 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 34,052 | 43,947 |

(単位:百万円)

投資・在庫計画



キャッシュフローの状況 9



(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

会社の概要

会社概要 (2013年3月31日現在)

| | |
|------------|--|
| 社名 | アルパイン株式会社 |
| 英文社名 | ALPINE ELECTRONICS,INC. |
| 本社 / 東京事務所 | 〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494)1101 (大代表) |
| いわき本社 | 〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20番1号 TEL 0246(36)4111 (大代表) |
| 設立 | 1967年5月 |
| 発行可能株式総数 | 160,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 69,784,501株 |
| 資本金 | 259億2,059万円 |
| グループ従業員数 | 11,107名(連結ベース30社合計) |
| 国内関係会社 | アルパインマーケティング株式会社 アルパインテクノ株式会社 アルパインマニュファクチャリング株式会社 アルパインプレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパインビジネスサービス株式会社 アルパインカスタマーズサービス株式会社 他4社 |
| 海外関係会社 | アルパイン・アメリカ アルパイン・ヨーロッパ アルパイン・中国 アルパイン・アジア・パシフィック 他13社 |
| ホームページアドレス | http://www.alpine.com/j/ |

役員の状況 (2013年3月31日現在)

| 氏名 | 当社における地位および担当または主な職業 |
|-------|-----------------------|
| 石黒 征三 | 取締役会長 |
| 宇佐美 徹 | 取締役社長 (代表取締役) |
| 森岡 洋史 | 常務取締役 生産・購買担当 |
| 堀 重和 | 常務取締役 技術・開発統括 |
| 梶原 仁 | 常務取締役 品質保証・環境担当 |
| 甲斐 政志 | 常務取締役 管理担当 |
| 片岡 政隆 | 取締役 アルプス電気(株) 代表取締役会長 |
| 相馬 聡 | 取締役 欧州担当 |
| 小林 俊則 | 取締役 営業担当 |
| 遠藤 浩一 | 取締役 製品開発担当 |
| 水野 直樹 | 取締役 中国担当 |
| 田中 統治 | 常勤監査役 |
| 倉島 要 | 監査役 |
| 小島 秀雄 | 社外監査役 公認会計士 |
| 米盛 泰輔 | 社外監査役 弁護士 |

※小島 秀雄氏は、東京証券取引所の定めに基づく「独立役員」です。

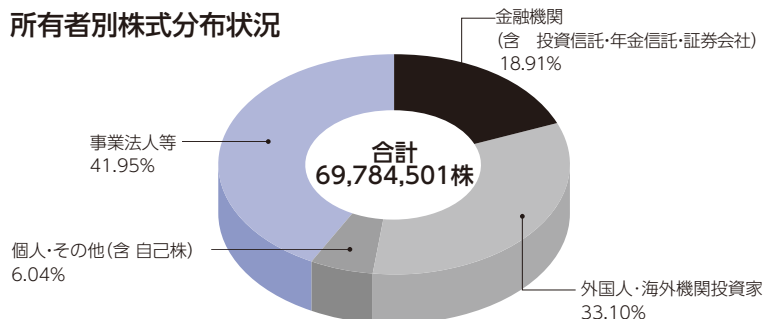


株式の状況(2013年3月31日現在)

| 大株主 株主名 | 当社への出資状況 | | 当社の大株主への出資状況 | |
|---|-----------|-----------|--------------|-----------|
| | 持株数 千株 | 持株比率 % | 持株数 千株 | 持株比率 % |
| アルプス電気株式会社 | 28,215 | 40.44 | — | — |
| OM04SSB・クライアント・オムニバス | 4,505 | 6.46 | — | — |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) | 3,337 | 4.78 | — | — |
| 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 2,616 | 3.75 | — | — |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9) | 2,110 | 3.02 | — | — |
| ノーザン・トラスト・カンパニー(AVFC)サブ・アカウント・アメリカン・クライアント | 1,163 | 1.67 | — | — |
| ステート・ストリート・バンク&トラスト・カンパニー505103 | 1,088 | 1.56 | — | — |
| ステート・ストリート・バンク&トラスト・カンパニー505225 | 1,082 | 1.55 | — | — |
| ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・トリイティ・ジャスデック・アカウント | 805 | 1.15 | — | — |
| アルパイン社員持株会 | 753 | 1.08 | — | — |
| ステート・ストリート・バンク&トラスト・カンパニー | 751 | 1.08 | — | — |
| バンク・オブ・ニューヨーク・タックス・トリイティ・ジャスデック・オムニバス2 | 639 | 0.92 | — | — |
| ノーザン・トラスト・カンパニー・AVFC・リ・ノーザン・トラスト・ガンジー・ノン・トリイティ・クライアント | 600 | 0.86 | — | — |
| メロンバンク・トリイティ・クライアント・オムニバス | 592 | 0.85 | — | — |
| 本田技研工業株式会社 | 585 | 0.84 | 3,600 | 0.19 |

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 決算期日 | 年1回 3月31日 |
| 利益配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 基準日 | 定時株主総会については、3月31日。 その他必要がある時は予め公告いたします。 |
| 定時株主総会 公告掲載 | 6月下旬 電子公告により、当社ホームページ (http://www.alpine.com/j/investor/index.html)に掲載いたします。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類等に関する電子開示システム)にて開示しております。 |
| 上場証券取引所 証券コード | 東京証券取引所市場第1部 6816 |
| 売買単位 | 100株 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

【株式に関する手続き】

| お手続き・ご照会の内容 | お問合わせ先 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○郵便物の発送と返戻 ○支払期間経過後の配当金 ○特別口座から一般口座への振替 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) |
| <ul style="list-style-type: none"> ○単元未満株式の買取・買増請求※ ○住所変更・氏名変更 他 | <p>口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。</p> <p>※但し、証券会社に口座を開設されていない株主様は、三菱UFJ信託銀行にお問合わせ下さい。</p> |

www.alpine.com



UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しております。